

# 事務事業事後評価シート[平成27年度事業]

## 1. 基本情報

■事業の担当課	商工部商業観光課	■担当係	観光物産係
■評価事業名称	産業観光振興事業		
■事業開始年度	平成20年度		
■評価事業コード	060200 - 078	■会計区分	一般会計
■総合計画での位置づけ	■政策	03 ひと・技・資源を組合せ活気うまれるまちづくり	
	■基本施策	02 活気ある商工業と観光の振興	
	■施策	04 地域資源を活かした観光の振興	
■事業の類型	05 ソフト事業(任意)	■政策・業務区分	政策
■法令の根拠区分	法令に特に定めのないもの		
■法令等の名称			
■関連計画の名称			
■事業の目的と概要	工業集積の特性を活かして、最先端技術を備えた工場の見学や体験などの産業観光を推進し、工業見学者に対して当市の観光物産をPRする。工場見学者受け入れ工場に観光パネル・パンフレットを設置して観光、物産をPRする。ガイドブックの作成。		

## 2. 細事業の活動実績情報

細事業コード	細事業名称	事業の対象	平成27年度事業計画	平成27年度事業量実績
01	産業観光振興事業	企業、市民、観光客	観光パンフレットの作成、研修等の開催	観光パンフレットの作成2,500部、パンフレット掲載事業所19社

## 3. 投入コスト情報

(単位:千円)

	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
直接事業費	387	360	325	395	
人件費	1,101	458	403	894	
その他(公債費・減価償却費等)					
フルコスト	1,488	818	728	1,289	

## 4. 評価指標等の状況

指標コード	指標名	24年度	25年度	26年度	27年度	指標の説明
01	観光パネル設置企業数。	0社		0社	0社	新規設置数
02	観光パネル設置企業述べ数	5社		5社	5社	ヤクルト工場、TDK、シチズン、関東自動車、東北イノアック
03	見学受け入れ企業の入込数	28,000人		28,600人	27,000人	

# 事務事業事後評価シート[平成27年度事業]

04	見学者1名当りコスト				
05	設置会社数当りコスト				

## 5. 事後評価(「政策」事業類型5・6のみ)

### ■目標達成状況

- A. 順調
- B. 概ね順調
- C. 遅れている

### 達成状況の分析

入込数を安定的に確保している。学校行事として、市外からの見学も多く、工場見学ができる街としての認識は定着している。

### 問題点・課題等

観光資源として、魅力を更に宣伝するためには、産業を体験できる内容が不足している。ニーズの分析や参加事業所との連携が不足している。

### 1. 直接的な受益者の範囲

- 不特定多数に及ぶ
- 特定されるが多数に及ぶ
- 特定少数に限定される

### 2. 事業廃止の影響

- 大きな不利益やリスクが生じる
- ある程度の不利益やリスクが生じる
- 不利益やリスクは小さい

### 3. 国・県・民間との競合関係の有無

- 類似の事業はない
- 類似の事業はあるが競合はない
- 類似の事業があり競合する

### 4. 事業へのニーズの変化

- ニーズが高まっている
- ニーズは変わらない
- ニーズが低下している又は合致しない

### 5. 施策の改善需要度(市民意識調査)

- 順位が高い
- 順位が中程度
- 順位が低い

### 6. 施策の優先度(市民意識調査)

- 順位が高い
- 順位が中程度
- 順位が低い

### 7. 他市町村に比較しての優位性

- 先進的またはユニークな事業である
- 他と同程度の事業である
- 遅れている事業である

### 8. 実施主体の代替性

- 民間委託等の拡充は難しい
- 民間委託等の拡充が十分に可能
- 全部委託や実施主体の移行が可能

### 9. 経済性・効率性の向上

- 今以上の効率化や改善は難しい
- 効率化や改善を図ることは十分に可能
- 効率化や改善の余地が大きい

### ■事業の見直し方策

観光客が見て、触って、感じる事が出来るモデルコースの設定や、新規参加事業所を開拓する。工場見学実施事業所との連携を強化する。

### ■今後の方向性

- I. 拡充
- II. 継続
- III. 縮小
- IV. 廃止・休止
- V. 完了